

久米 寿号

第124号
H26.7.1
久米地区
寿会連合会
文化部

久米地区寿会連合会の活動状況

- 四月一日 『久米寿号第一二三号』発行
- 四月五日～十五日 「春の全国交通安全運動」に街頭立哨活動で参加
- 四月十七日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 四月二十三日 輝きクラブ周南定期総会
- 四月二十三日 輝きクラブ周南徳山支部定期総会
- 五月一日 久米地区寿連 役員会
- 五月一日 久米地区寿連 決算監査会
- 五月二十三日 久米地区寿連定期総会&研修会
- 六月十日 『久米寿号第一二四号』編集会議

☆新会員の紹介

- 中嶋加代子さん (東寿会)
- 清水ミサコさん (東寿会)
- 素村昌子さん (上南寿会)
- 東 田鶴子さん (上南寿会)
- 世良富佐子さん (上南寿会)
- 古谷美佐枝さん (上南寿会)

☆会員の訃報

- 謹んでご冥福をお祈り申し上げます
- 小林基之助さん (中寿会)
平成二十六年四月七日死去 享年八十八歳
- 村谷タカ子さん (中寿会)
平成二十六年四月二十九日死去 享年八十八歳
- 藤井直枝さん (中寿会)
平成二十六年六月七日死去 享年八十二歳

久米地区寿会連合会役員

五月二十三日久米公民館開催された「久米地区寿連定期総会」で下記のとおり役員が選任されました。任期は会則により二年です。役員一同、より良い会の運営をめざして、一生懸命努力して参りたいと存じます。今後ともご支援・ご協力をよろしく願います。

役職名	氏名	所属
会長	大嶋隆太郎	北寿会 (会長)
副会長	中嶋 捷紀	東寿会 (会長)
幹事	井上 隆雄	田中院内寿会 (会長)
理事	片岡 基	中寿会 (会長)
理事	森川ユカエ	上南寿会 (会長)
理事	井上 隆雄	田中院内寿会
体育部長	森川ユカエ	上南寿会
女性部長	井上 隆雄	田中院内寿会
文化部長	井上 隆雄	上南寿会
盛年部長	柏 幾子	上南寿会
監事	長野 敬博	東寿会
監事	石川 博子	上南寿会
顧問	原田 博	北寿会

【註】体育・女性・文化・盛年各部長は、会則により理事も兼ねる。
なお、今年度の久米地区寿連の正会員数は一八二名です。(五月二十日現在)

短歌・川柳

上南寿会 石田敬枝
後にして打ち身のあざに気づきたり
五体感覚鈍くなりしか
子の名前時に忘るる母なれど

ふるさとのうた正しくうたう
長生きをしたものだねとつぶやいて
亡母は満開の桜を仰ぐ
(九十三歳卒)

清花
梅雨しとど狭庭かきわけ草萌ゆる
標準語のすきまから出た里なまり



朝の散歩 (五)

中寿会 高原佳子

新学期が始まって、朝の散歩も五年目を迎えることが出来ました。

四月には、新しい道路も2号線と繋がりが、通りには、農協や西京銀行もオープンし、建築ラッシュはまだまだ続いております。

通学路も地下道へと、信号を渡らなくても安全に2号線を抜けることが出来るようになり、立哨の場所を決めるため、地下道へ下りてみたら、ここが意外と危険な場所と分かり、ここを立哨の場所に決めました。

地下道の中は幅は狭く、長さは結構あるので、自転車に乗ったままで通り抜ける人もあり、又子供達もなかなか一列に並んでくれないし、走って地下道に下りてくる子供と、自転車がぶつかりそうになったこともあり、そのことに特に気を付けています。

新学期が始まってから、驚いたことがあります。それは、三月まで私が勝手に自由人と思っていた、N君と一君です。

N君はいつも全員が登校し、私が帰りかけた頃、はるか向こうから、歩道をシグザグに歩いて来るのです。待っていて、なかなか来ないので途中まで迎えに行くと、「もう遅いから頑張って行ってね」と、送っていた子です。もう一人の一君は一年生の頃から自由人で、自分の班にはおいて行かれ、いつも一人どころかの班に紛れたりしていた子供です。

それが、新学期から、二人とも班長になり、先頭に立って並んで来たではありませんか。もう吃驚して、あわてて、「おはようございます。班長になったの。頑張ってるね」と言葉をかけました。

たった一と月もたたない間に、子供はずいぶん成長するものだと、感動させられました。

その日から、ずっと、この子達を見守っています。N君は二度遅れただけで、一君は、一年生の妹に手をやきながら、毎日元気に通学しています。

今年度から久米小児童見守り隊の一員にして頂き、責任を感じています。元気でいつまで歩けるかなと思う日もある、今日この頃です。



夫唱婦隨

上南寿会 齊藤恒郎

「黙って俺に従いてこい」は、東洋の魔女と称えられた女子バレーボール・チーム監督の大松博文氏の言だ。そんな力強い言葉も今は消えて久しい。女性パワーは益々強く、反面草食系男子が増え「夫唱婦隨」なる言葉は死語になりつつある。

以前にも書いたが、決断力が乏しい上に視力障害者になって、家政の一切は妻の手中にある。当然、権限も妻に移っている。「ゴミは？」「洗濯は？」「風呂は？」の一言で済む我が家は「婦唱夫隨」なのだが、コーヒー・タイムの後、新聞記事の幾つかを読み上げてくれる。これも婦唱夫隨と言っべきかな。

「美味しいもの食べに行こうよ」「行かない」「コンサートは？」「友達と行けよ」「旅行しようよ」「姉妹で行く方が楽しいだろう？」。出無精の私だからこれは「婦唱不隨」になるな。
「でも私は不承不承だからね」

自然の恵み(その三)

中寿会 野村克行

平成二十六年一月発行の『久米寿号第一二二二号』で筆者が少年(主として昭和二十年代)の頃、海・山を駆け巡って取って食べたことについて述べました。食べたものを陸と海に分け、前回の『久米寿号第一二三号』(平成二十六年四月発行)では陸のものについて述べましたが、今回はその続きで、海のものを書きます。

2 海

(魚類)

・海中「ボラ、チヌ、アジ、サバ、イワシ(二)、ワチ、鯛、石鯛の子、クロ、セイゴ、メイボ、ギンガミ、エソ」

／イカ、(モ・マツ・ミニ)

・海底(砂&泥)「キス、メゴチ、ゴリ(二)、グチ、カレイ(二)、ハゼ(二)、カナガシラ、アナゴ、アナゴもどき、いい蛸」

・海底(岩礁)「メバル、カサゴ、アイナメ(二)、すずめだい、タナゴ」

／ベラ「シマガザ、アオギザ、ミヨウレン、ヒョコタン、キュウセン」

／海老、真蛸

／蟹「ツガニ、モガニ、モズクガニ」

・河口「ウナギ、白魚」

(貝類)／二枚貝「アサリ、トリガイ、赤貝、エガイ、蛇、オチバ、ハマグリ、ミルク、バカ、ムラサキ」

／ウシノツメ

／巻貝「蜷(アマ、普通、イボ)、ヨナキ、サザエ、トコブシ、縞、ハゲ、マツバガイ、キクノハナカイガイ」

(牡蠣他)「普通・小粒・コロミ」／ウニ「ムラサキ、馬糞」／ナマコ

(海藻)「ワカメ、ヒジキ、テングサ、ボタンアオサ、ノリ、コブノリ、トリノアシ、オゴ」

計 八十二種

天叢雲剣(アメノムラクモノツルギ)の話

神楽(大蛇おろち退治)

中寿会 井上好男

昨年の敬老会には石見神楽を見て、子供時代を思い出した。田舎育ちの私は年一、二回の神楽が楽しい思い出である。本来は神々に奉納するもので、当時は真に迫る舞い振りで、演題も多く夕方から夜中三、四時夜明けまであり大蛇が最後であった。今は観客と話しながら又大蛇が立ち上がる見せ場など、私には異様な感じさえした。

神話時代(中国では魏呉蜀の三国時代日本には明確な歴史文献がない)出雲国興りの話、天照大神の弟で須佐之男命は、私の考えでは荒ぶる神として追われて出雲につき大蛇退治した話。尾から剣(天叢雲剣)で現存は熱田神宮の御神体)を取り出した。古代天皇皇位継承の三種の神器の一つ、出雲の国は古代強力な国であった。大国の主の命二代目えびす様と国は栄えた神楽にもある国譲りの儀なる舞がある。大和朝廷に滅ぼされた。ここからはつきりした日本史が始まる。

この地方にはドジョウすくい面白く踊りがある。川の土壌より砂鉄をすくい国を富ましたのだと思うなら、他国へ泥船と見せての秘密の踊りだろう。

天照が卑弥呼か、都はどこか、全国にいろんな説がある。卑弥呼が魏に使を送ったのも日本史からではない。卑弥呼没して男子の王をたてたが国治まらず、又女王を立てたら国治まるなどあり女王時代。

当時日本には数々の原始部族があり、国が形成されて行く神話時代は想像の世界、興味深い長い長い話が続くのである。

「行事短信」

久米地区寿連の親睦グラウンドゴルフ大会

三月二十七日(木曜)の午後、久米総合グラウンドにて「久米地区寿連の親睦グラウンドゴルフ大会」が開催され、三十名が参加しました。前日の雨でグラウンドの一部に少し水溜まりが残っていましたが、当日は素晴らしい晴天のもと、試合は八ホール二ゲームの個人戦で勝敗を競いました。

ホールインワンも六本出ました。得点は最高三十八点から六十三点までとなり、最高点は二人出ましたが、年長者優先の競技ルールで一位と二位が決まり、その結果、優勝は中嶋捷紀さん(東寿会)、準優勝は長野敬博さん(東寿会)となりました。お二人にはそれぞれトロフィー(持ち回り)と賞品が授与されました。

その他の入賞者十二名(三位、四位、五位、六位、七位、及び十位とその五番ごとの飛び賞、ブービー賞、ブービーメーカー賞、当日賞)、さらにホールインワン賞もあり、それぞれ賞品が授与され、残念賞もあって楽しい一日となりました。



準優勝 長野敬博さん
優勝 中嶋捷紀さん

